タイマー取扱説明書

※本製品は操作終了後、約10分経過すると自動的に電源が切れる省電力構造になっております。（カウント中を除く）
お使いになる際、表示が消えている場合には電源を入れてからご使用ください。電源はどのボタンを押しても入れることができます。
※時計表示とタイマー表示の切り換え：「時計／タイマー」ボタンを押します。

● 時計のセット方法

1）「時計／タイマー」ボタンを押して時計表示にします。
2）「時計／タイマー」ボタンを3秒以上押し続けると「時」が点滅します。
3）「10秒」ボタンを押して、午前「A」、午後「P」、24時間表示「24」を切り換えます。
4）「10分」「1分」ボタンを押して「時」を合わせます。
※「10分」ボタンは1回押すごとに10時間ずつ進みます。
「1分」ボタンは1回押すごとに1時間ずつ進みます。
5）「スタート／ストップ」ボタンを押すと「分」が点滅します。
6）「10分」「1分」ボタンを押して「分」を合わせます。
※「10分」ボタンは1回押すごとに10分ずつ進みます。
「1分」ボタンは1回押すごとに1分ずつ進みます。
7）「時計／タイマー」ボタンを押してセット完了です。

● カウントダウン機能

1）「時計／タイマー」ボタンを押してタイマー表示にします。
2）「リセット」ボタンを押して表示を「00M00S」にします。
3）「10分」「1分」「10秒」ボタンを押して時間をセットします。
例1）21分30秒とセットする場合：「10分」ボタンを2回押す→「1分」ボタンを1回押す→「10秒」ボタンを3回押す
例2）5分とセットする場合：「1分」ボタンを5回押す
例3）40秒とセットする場合：「10秒」ボタンを4回押す
4）「スタート／ストップ」ボタンを押すとカウントダウンが始まります。セット時間になるとアラームが約1分間鳴ります。（セット時間が5分を越えるときは、10分前と5分前にプレアラームが鳴って知らせます。）
5）アラームを止めるときは、どのボタンを押しても止まります。
（リピート機能：アラームを止めると、もとのセット時間に戻ります。）
6）カウントダウン中「スタート／ストップ」ボタンを押すと一時停止することができます。続けてカウントダウンする場合は再度「スタート／ストップ」ボタンを押してください。
7）カウントダウン中「時計／タイマー」ボタンを押すと時計表示になりますが、カウントダウンは進行し続け、セット時間になるとアラームが鳴ります。

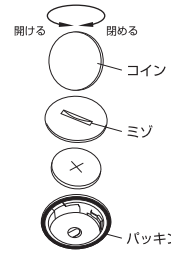
● カウントアップ機能

1）「時計／タイマー」ボタンを押してタイマー表示にします。
2）「リセット」ボタンを押して「00M00S」表示にします。
3）「スタート／ストップ」ボタンを押すとカウントアップが始まります。
4）「スタート／ストップ」ボタンを押すとカウントアップは停止します。

■ 電池交換（使用電池：CR2032×1個）

電池容量が少なくなってきますと、表示が薄くなったり、誤作動および異常表示がされたり、ボタン操作ができなくなる事があります。電池交換の目安にしてください。電池交換は以下の手順でおこなってください。

1）裏面の電池カバーをコイン等で回し、取りはずします。
※ミゾをつぶしてしまうと、フタを開けることができなくなるおそれがありますのでご注意ください。



2）古い電池を抜き取り、新しい電池の極性（＋・－）を正しく入れます。（＋を上にしてください。）
※電池の極性を間違えると液漏れ等が発生するおそれがありますのでご注意ください。
※電池セットが不完全だと正常に使用できない場合があります。
3）電池カバーを閉じます。
※ 電池カバーを閉じる際は、パッキンがズレることなく正常にセットされていることをご確認ください。
※ 電池を廃棄するときは、お住まいの自治体の指示に従ってください。

■ 電池寿命

このタイマーは新しい正常な電池を組み込んだ場合、約1年間作動します。
（1日30秒アラームを鳴らした場合）
製品に組み込まれている電池は動作確認用電池ですので、表示期間より電池寿命は短い場合があります。

■ 製品仕様

表示方法	液晶デジタル 4桁
アラーム鳴動時間	約1分間
最大セット時間	99分50秒
カウントアップ最大計測時間	99分59秒
オートパワーオフ	約10分
常温時精度（20℃）	±0.0013%以内
防滴仕様	JIS C0920 IPX2
電源	DC3V（リチウムボタン電池CR2032×1個）

■ 製品についてのお願い事と注意

1）本製品は防滴構造になっていますが防水タイプではありませんので、水中に入れたり水洗い等は避けてください。
2）高温、多湿や磁気の多い場所に置かないでください。
3）加熱、分解、充電、改造、水中や火中でのご使用は避けてください。
4）落下や衝撃は故障の原因になりますのでご注意ください。
5）本体の汚れはかたく絞ったふきんで拭き取ってください。汚れがひどいときは中性洗剤をふきんにつけて拭き取ってください。お手入れの際、シンナー・ベンジン・ガソリン・灯油・アルコールなどは使わないでください。変色、変形、破損のおそれがあります。

⚠ 電池についての警告

●ショート、分解、加熱、火に入れないでください。発熱、液漏れ、破裂の原因になります。
●電池は乳幼児の手の届かない所に置いてください。万一、飲み込んだ場合には、直ちに医師に相談してください。
●電池を廃棄する場合および保存する場合には、テープなどで絶縁してください。他の金属や電池とまじると発火、破裂の原因になります。

⚠ 電池についてのご注意

下記のことを必ず守ってください。電池の使い方を間違えますと、液漏れや破裂のおそれがあり機器の故障、けがの原因となります。
※ 電池の極性（＋・－）を正しく入れてください。
※ 使い終わった電池はすぐに器具から取り出してください。
※ 長期間使用しない場合は電池を取り出しておいてください。